

令和5年9月7日
障害福祉部
子ども・若者部

(仮称) 世田谷区立弦巻統合保育園等施設整備方針について

1 主旨

区立保育園の再整備計画については、令和4年7月28日の福祉保健常任委員会において、「区立保育園の今後のあり方」に基づく新たな再整備計画について（以下「計画」という。）として、当面の移転や統合等のスケジュールを報告したところである。

当該計画の一つで、また、「世田谷区公共施設等総合管理計画」にも計画している区立松丘幼稚園跡地を活用して整備する区立弦巻保育園と区立西弦巻保育園の統合園（(仮称) 世田谷区立弦巻統合保育園。以下「統合園」という。）等の整備方針を取りまとめたので、その概要を報告する。

2 整備方針の概要

(1) 基本的な考え方

①弦巻保育園と西弦巻保育園の統合

弦巻保育園（築54年）及び西弦巻保育園（築45年）の統合園を近距離にある松丘幼稚園跡地を活用して整備する。

なお、松丘幼稚園については、令和4年8月に策定した「区立幼稚園集約化等計画」において、令和8年度以降に桜丘幼稚園に集約化することを示している。

②障害児通所施設の設置

障害福祉部において策定する「障害児通所施設等の整備の基本的な考え方について」に基づき、世田谷区全体における需要に応えるために障害児通所施設（重症心身障害児事業含む）を計画的に整備するとともに、施設整備にかかる財政的負担軽減、将来的な双方の施設の子どもたちの交流も視野に、統合園において複合化する。

③跡地活用

跡地については、子ども・子育て施策や上馬保育園等の再整備時の仮園舎等としての活用を検討していく。

④整備手法

基本構想策定の際に、様々な整備手法について検討していく。

(2) 施設の概要

①整備地の概要

所在地	世田谷区弦巻5丁目21番10号
敷地面積	1,653 m ²
用途地域等	第一種低層住居専用地域 / 容積率：150% / 建ぺい率：60% / 第一種高度地区 / 準防火地域
建物概要 (松丘幼稚園)	鉄筋コンクリート造2階建て / 延床面積：696 m ² 昭和48年建築（築50年）

②統合園の定員

0～5歳児クラスで、143人を想定している。(人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
統合園	6	18	26	31	31	31	143

[参考：令和5年4月1日現在定員] (人)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
弦巻保育園	—	16	16	19	20	20	91
西弦巻保育園	9	15	17	19	20	20	100

③整備する建物の概要

(ア) 統合園の延床面積は、世田谷区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例等に基づき、定員143人に必要な保育室等を整備するため、必要な延床面積を約1,200㎡とする。

(イ) 世田谷区公共施設設計仕様書(保育園)に基づき、次のような諸室等の整備を想定している。

0～5歳児各保育室、ランチルーム、園庭、事務室、調理室、トイレ
(乳幼児、大人用)、休憩室、更衣室、駐輪場等

④障害児通所施設

医療的ケア児にも対応した障害児通所施設事業(重症心身障害児事業含む)を実施するために必要な延床面積約230㎡(花見堂複合施設における通所施設と同規模)に加え、送迎用の駐車場を2台分確保する。

また、施設対象部分をスケルトン状態で事業者に貸し付けたうえで、事業者が都補助金を活用しながら開設に必要な整備を実施し、運営を行う。

主たる対象：医療的ケアを必要とする重症心身障害児及び障害児

定員：重症心身障害児施設(児童発達支援)5人

児童発達支援と放課後等デイサービスとの多機能事業 10人

3 概算経費

(1) 概算事業費(設計費、建設工事費、解体費)

約10.4億円

〈内訳〉設計費：約0.9億円

建築工事費：約8.7億円

解体工事費：約0.8億円

※概算事業費には、園庭整備費、擁壁改修費、外構・植栽・遊具・駐輪場整備費並びにZEB化にかかる工事費及び設計費は含んでいない。

※障害児通所施設事業者等が負担する内装工事費を除く。

(2) 施設維持管理費

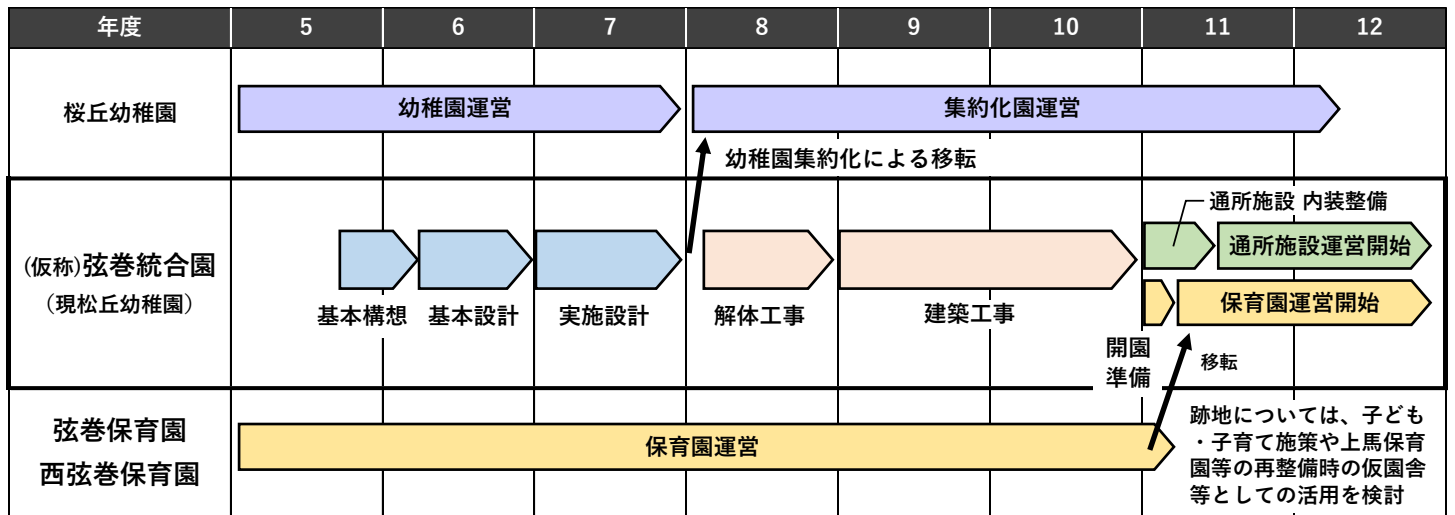
統合園：約971万円/年

障害児通所施設：約249万円/年

※同規模の既存区立保育園を参考に、施設維持管理単価を抽出し、当該施設の延床面積を乗じて算出

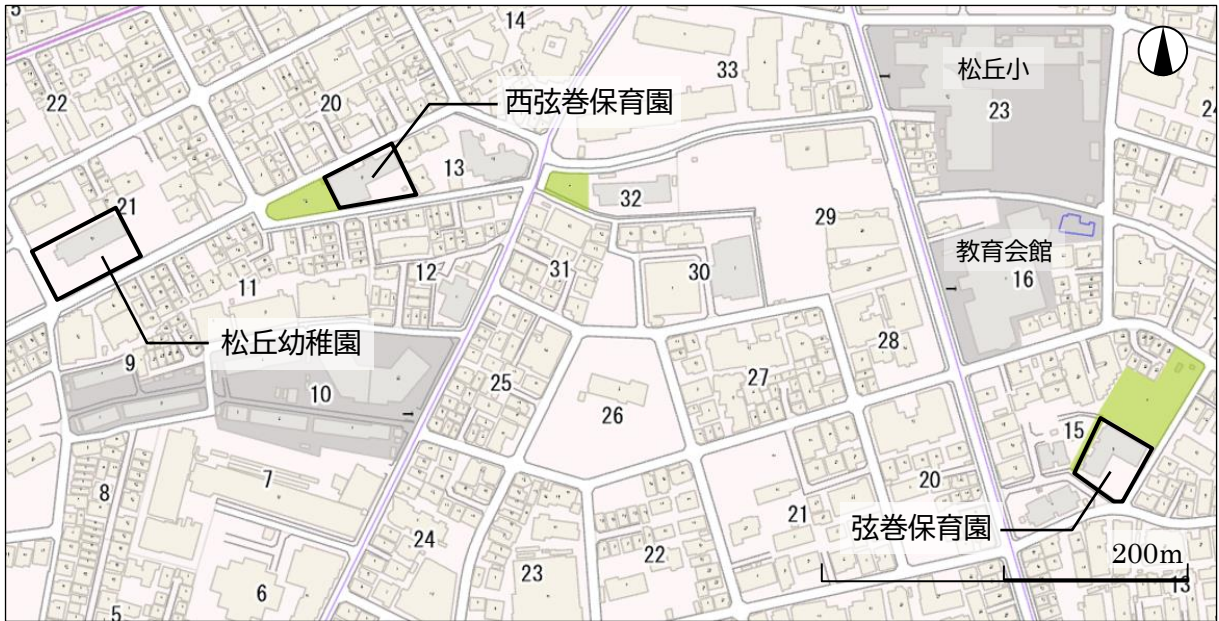
4 今後のスケジュール（予定）

令和5～6年度	基本構想
6年度	基本設計
7年度	実施設計、旧園舎解体設計
8年度以降	旧園舎解体工事
9年度以降	建築工事
10年度以降	竣工
11年度以降	統合園等運営開始



【参考】施設の位置・現況概要

(1) 位置図



(2) 現況図 (松丘幼稚園)

